

県・南駿地域総合防災訓練

裾野会場の訓練に 141 団体、2万 7,000 人が参加

裾野市・沼津市・長泉町・清水町の2市2町は、9月3日(日)に初めて県・南駿地域総合防災訓練を行いました。市内では市民文化センター周辺や運動公園、広域避難地などでさまざまな訓練を行いました。

危機管理課
☎995-1817

大規模災害に備えて

「地域防災計画の実効性の検証」と、「市民との連携による地域の防災力の向上」を目的に、多彩な訓練を行いました。「地域防災計画の実効性の検証」では、物資集積所（市民文化センター）や災害ボランティア本部（福祉保健会館）など、市が指定した災害拠点の運営を確認。また、富士山火山対策として、第1次・第2次避難対象エリア住民の避難訓練を行いました。「市民との連携による地域の防災力の向上」では、女性が中心となって、女性目線の避難所の運営および展示

を行い、届きにくい女性の声を聞くことができました。広域避難地では、各区自主防災会が作成した安否確認台帳を用いて、区民の安否確認訓練を行いました。顔の分かり合える関係を築き防災に対する心構えと手順を学びました。

今回の訓練での成果を次のアクションにつなぐため、自助・共助・公助の意識を市民の方も行政もより一層意識していくよう、防災意識のさらなる啓発を図っていきます。



▲女性目線を生かして設置した避難所



▲自衛隊員の指導でヘリコプターの着陸を誘導する消防団員ら



▲地元企業と連携した物資の仕分け訓練



▲第1次・第2次避難対象エリア住民の富士山火山避難訓練



▲安否確認台帳を用いて区民の安否を報告



▲倒壊家屋から負傷者を救出する消防署員ら



▲トリアージ訓練に取り組む参加者



▲災害ボランティア訓練に参加する方々



▲市赤十字奉仕団による炊き出し訓練



◀倒木除去に取り組む市建設業協会の方々



◀多重事故車両から負傷者を救出する広域緊急援助隊員